

れいわねんがつふつかげつぜんこうちょうかいこうちょうこうわ
令和8年2月2日(月)全校朝会校長講話
じぶんみふかえせつぶんよ
自分を見つめて、振り返る——節分に寄せて——

がつさむひつづ
2月になりました。まだまだ寒い日が続いていますから、かぜなどの感染症には、引き続き気を付けてくださいね。

じどうせつぶんほんらいねんかい
さて、児童のみなさん。「節分」は、本来は年に4回あるのです。節分は漢字で「節を分ける」と書きます。ここで節とは、季節の区切りを指します。それぞれの季節の区切りのときが節分なのです。冬から春に変わる、この2月の節分だけを、私たちが節分と呼ぶようになったのは、昔のお正月である旧正月に、邪氣を払って新年を迎えようとしていたこととつながりがあるのだそうです。邪気というのは、「災い」のことです。つまり、「鬼」のことです。

おになにわたしそとわたしなか
鬼というのは、何も私たちの外にあるのではなく、私たちの中にいます。その鬼を追い払おうというのが、節分の習わしです。私たちも、勇気をもって、自分の中の鬼を追い払い、暖かな春を迎えていたいですね。校長先生のお話、終わります。